

兵庫県立がんセンター腫瘍内科 専攻医・フェロー募集

当科は開設以来、次世代の腫瘍内科医を育成することに力を注いでおり、随時、積極的に専攻医・フェローの採用を行っております。がん薬物療法専門医取得を目指して、日本臨床腫瘍学会作成「がん薬物療法専門医のための研修カリキュラム」に沿った研修を行っております。

臓器横断的に、様々ながん種の診療を経験し、成人の固形がん全般の化学療法に対応できる腫瘍内科医の育成を目指しています。また、臨床腫瘍学のみならず、その土台となる一般内科学や感染症診療にも力を入れた研修姿勢を大切にしています。

各種の資格取得に加え、当科での研修の目標を以下の様に位置づけています。

- (1) 悪性腫瘍全般の標準治療を理解し、全ての固形がんの化学療法を実践できる
- (2) 化学療法による様々な有害事象に、適切に対応できる
- (3) 初診から治療方針決定、治療終了まで、がんチーム医療の舵取り役を担える
- (4) 緩和ケアにも精通し、がん患者様に対して適切な医療面接の技術を持つ
- (5) 各種臨床研究に携わり、学会、論文など学術発表の場を持つ

腫瘍内科のトレーニングとしての当科での研修のウリを、3つ挙げます。

一番には症例のバラエティです。消化器や呼吸器などのよく内科医が診療している癌だけでなく、乳癌、婦人科癌、頭頸部癌の診療にも力を入れており、グローバル試験にも参加しています。原発不明癌、肉腫(ESFT,横紋筋肉腫などを含め)、胚細胞腫瘍などでの治療例も豊富に経験しております。また、第一相試験を含む早期開発にタッチして頂く機会もあります。

二番目は指導環境です。指導に当たるのは全員 JSMO のがん薬物療法専門医で、かつ比較的若年で、自分自身で普通に入院・外来患者を診療しています。本当の意味での hands on で教育をできる体制をとっています。専攻医・フェローの皆さん習熟度と適性に応じて、入院・外来診療を指導してがん薬物療法専門医の取得までフルサポートします(現在まで合格率 100% !!)。

三番目はカリキュラムの柔軟性です。臨床腫瘍学の知識を深めるために、希望に応じて、院内の他の内科や放射線診断科、放射線治療科、病理診断科等へのローテート研修も可能です。また、現在初期研修中で、今後、日本内科学会認定内科医取得のためのさらなる一般内科研修が必要な方には、他の県立病院での一般内科ローテート研修も含めたカリキュラム作成が可能です。さらに、国内の他の最先端施設への国内留学や近隣のホスピスへの見学研修の実績もあり、希望に応じて様々なアレンジが可能です。

研修期間についても、特に規定は設けておらず、1年間などの短期間の研修でも日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医取得に必要な症例数が経験できるよう研修カリキュラムを工夫させていただきます。意欲と能力に応じて海外留学のアレンジも可能で、現在 OB が米国留学中です。

当院は400床の中型病院であるため、大学病院等の大病院と比較して各科の間での「垣根」が低く、「小回りが利く」病院で、内科医としての臨床能力の向上を図りやすい環境です。また、全国に先駆けて外来化学療法室IVナース制を導入したり、医師の事務作業をサポートする補助士の採用など、医師の業務内容を最適化し、臨床、研究に専念できる体制づくりに努めています。

当科での研修に関して興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせ下さい。
随時、見学を受け付けております。

お問い合わせ先：[お問い合わせフォーム](#)にてご連絡下さい。
こちらから担当者がご連絡を差し上げます。